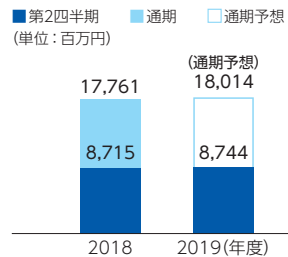


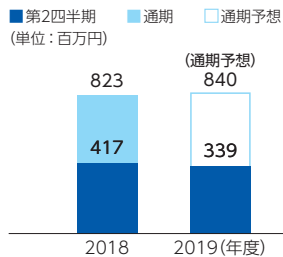
売上高

8,744 百万円
(前年同期比 0.3%増)



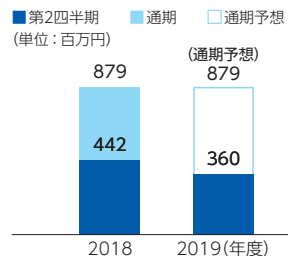
営業利益

339 百万円
(前年同期比 18.5%減)



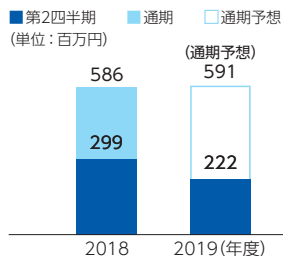
経常利益

360 百万円
(前年同期比 18.5%減)



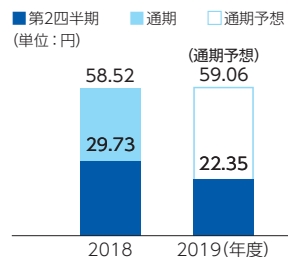
四半期(当期)純利益

222 百万円
(前年同期比 25.7%減)



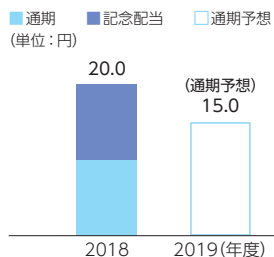
1株当たり四半期(当期)純利益

22.35 円



1株当たり配当金

15.00 円



株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式の総数 11,200,000株
株主数 4,708名
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)	
安藤文男	1,515	15.21	現当社代表取締役社長
I K I 持株会	1,027	10.31	
株式会社三菱UFJ銀行	214	2.15	
株式会社千葉興業銀行	203	2.04	
有限会社エム・ビ・エス	200	2.01	
三井倉庫ホールディングス株式会社	200	2.01	
春日正好	160	1.61	現当社顧問
岡三オンライン証券株式会社	127	1.28	
塚田克巳	94	0.94	
亀井慶紀	85	0.85	

(注) 1.当社は、自己株式1,238,969株を保有しておりますが、上記株主からは除いております。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月に開催
同総会議決権行使株主確定日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日(中間配当を行う場合)
その他の基準日 上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定いたします。

公告掲載URL 当社ホームページ
<https://www.ikic.co.jp/>
に掲載いたします。(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都府中市日鋼町1番地1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場金融商品取引所 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)

アイエックス・ナレッジ株式会社

〒108-0022 東京都港区海岸 3-22-23
TEL.03-6400-7000 (代表) FAX.03-6400-7900

アイエックス・ナレッジ株式会社

REPORT

第42期 第2四半期

2019年4月1日～2019年9月30日

株主通信

To the next stage



IX Knowledge Inc.



代表取締役社長
安藤 文男

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
このたび、アイエックス・ナレッジ株式会社2019年度第2四半期(2019年4月1日~2019年9月30日)の決算を終了いたしました。ここに業績・トピックスなどをご説明する「株主通信」をお届けいたします。

本誌を通じて当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。
今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

<2019年度第2四半期のトピックス>

- 4月 新入社員60名入社
情報システム会社様1社から感謝状
- 5月 大手ベンダー様の事業セグメント2分野でパートナー認定
信託銀行様1社から表彰
大手通信事業者様1社からパートナー認定
- 6月 情報通信事業者様1社から感謝状
- 7月 新潟事業所を移転
大手ベンダー様の事業セグメント1分野でパートナー認定
総合エンジニアリング企業様1社から感謝状
- 9月 大手ベンダー様1社から感謝状

※10月、当社は前身2社の経営統合による誕生から20周年を迎えました。

■ 損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2019年度 第2四半期累計)	前第2四半期 (2018年度 第2四半期累計)
売上高	8,744	8,715
売上総利益	1,638	1,565
営業利益	339	417
経常利益	360	442
税引前四半期純利益	329	442
四半期純利益	222	299

■ 貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

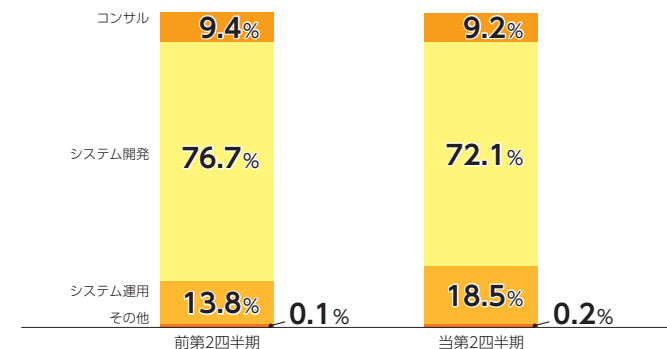
科目	当第2四半期末 (2019年度 第2四半期会計)	前期末 (2018年度)
資産の部		
流動資産	6,524	6,979
固定資産	2,759	2,764
資産合計	9,283	9,744
負債の部		
流動負債	2,113	2,599
固定負債	2,494	2,493
負債合計	4,608	5,093
純資産の部		
株主資本	4,467	4,444
評価・換算差額等	207	206
純資産合計	4,675	4,651
負債・純資産合計	9,283	9,744

■ キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

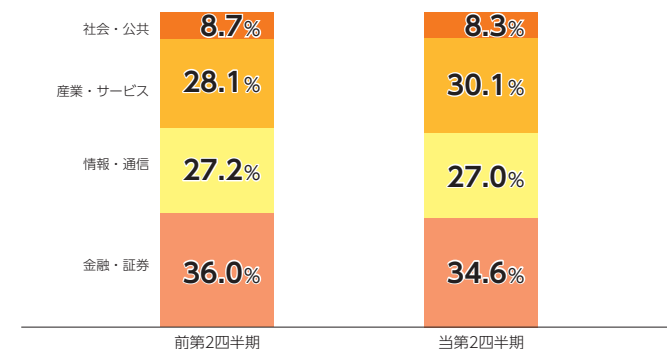
(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2019年度 第2四半期累計)	前第2四半期 (2018年度 第2四半期累計)
営業活動によるキャッシュ・フロー	47	184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39	△100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△216	△282
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,594	3,866

■ 品目別売上高比率



■ 業種別売上高比率



ポイント解説

■ 損益計算書

売上高は、大規模システム開発案件の収束などによる減少分を、基盤構築案件やシステム検証案件、車載組込み案件の受注拡大などがカバーし、29百万円(前期比0.3%)の増加となりました。一方、利益面では、当社誕生20周年対応などに伴う営業活動や次期成長事業創出に向けた技術者教育の為の費用増加等により、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに減少しました。

■ 貸借対照表

前事業年度末に比べ、資産については、主に「有価証券」「受取手形及び売掛金」の減少により減少、負債については、「未払金」や「その他」に含まれる「預り金」、「買掛金」などの減少により減少し、自己資本比率は、47.7%から50.4%となりました。

■ キャッシュ・フロー計算書

営業活動で得た資金を投資活動(固定資産の取得)および財務活動(配当金の支払、長期借入金の返済)で支出した結果、現預金残高は3,594百万円となりました。